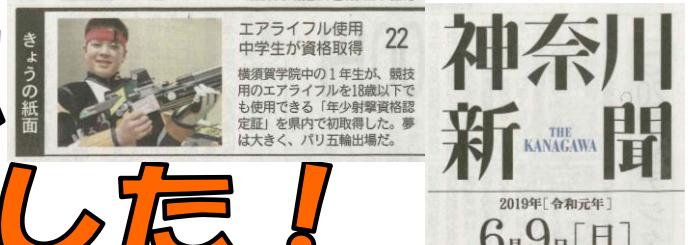


2019.6津久井幼稚園2012年度卒業生 ギャンビル ウィリアム海音くん中学1年 神奈川新聞に 掲載されました！



夢の五輪へ第一歩

18歳以下内 初 エアライフル使用認定

横須賀の中1・ギャンビルさん

横須賀学院中学校1年のギャンビル・ウィリアム海音さん(12)は、横須賀市が4月、競技用のエアライフルを18歳以下でも使用できる「年少射撃資格認定証」を県内で初めて取得した。小学4年から始めたビームライフルの実力を評価され、県公安委員会から交付され、五輪種目のエアへの意願の転向を果たした。目標は2024年のパリ五輪での日本代表だ。

(堤 正喜)

エアは金属製のペレットをビームは電子ビームをそれぞれ10㍍先的に向かって放ち、得点を競う。エアは原則、18歳以上でなければ使用できない。一方、ビームはエアと違つて弾が出ないため、銃刀法の規制も年齢制限もない。

幼い頃からおもちゃの銃が好きだったギャンビルさんは10歳からビームを始め、くりはま花の国射撃場(同市神明町)で腕を磨いてきた。

その実力は全国トップクラスだ。昨年10月に新潟県で行われた全国大会の小学生の部で優勝。今年2月に最後の全国大会でも、小学生

生の部でトップに輝いた。ただビームは五輪種目に選ばれていない。将来の夢に五輪代表選手を据えるギャンビルさんは、以前からエアへの転向を考えていた。エアへの転向を考へておられ、そのため認定証を得るために、銃刀法の規定も年齢制限もない。

主にビームで好成績を収めた10~17歳は、体育協会などからの推薦を受け、公安委員会の講習を修了すれば、指導者の下、エアの練習や競技に参加することができる。さらにエアでも成績を残せば、「射撃エリート」に推薦され、14~17歳でエアの所持が許される

協会などから推薦され、県公安委員会の講習も修了し、4月23日に認定証が交付された。夢への第一歩に、「応援してくれたり、支えてくれたりしたみんなのおかげ」と感謝の言葉を口にする。

5月11、12の両日には、

同射撃場で開かれたエアの

国体予選にオープン参加

し、エアデビューも飾った。

父で米海軍所属のボールさ

ん49)、母の千夏さん(46)

が見守る中、プレッシャー

にも負けず、4段を取得し

た。

6月下旬に埼玉県内で開

かれる大会への出場を目指

し、練習に励んでいるギャンビルさんは「みんな並

んで撃つのが楽しい」と競

技の魅力を語り、「ビーム

に比べ、エアはこつをつか

むのが難しいけれど、早く

慣れたい」と笑顔で話した。

